

5. 消費者の自立支援

(1) 消費者教育・啓発、情報提供

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位:千円)		所管課																				
		R 5年度	R 4年度																					
消費者教育の実施 (奈良県消費生活条例、奈良県消費生活センター条例)	<p>消費者が自ら確かな知識と判断力を身につけ、情報を正しく理解し、安心して適切な行動ができるための教育や情報の提供を行う。</p> <p>【R 4年度実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> 消費者フォーラムin奈良 (5月) 「ニュースの裏側から見るコロナ後の日本経済と消費者の暮らし」 講師:高岡 達之氏 (読売テレビ放送報道局解説委員長) 参加者:147名 会場:学園前ホール 「くらしの安全・安心サポーター」講座 10月25日・11月8日開催 場所:橿原文化会館 サポーター新規登録者15名 移動講座 通年 (141回) 参加者7,311名 出前講座 通年 (17会場) 参加者470名 消費者教育・啓発ポスターコンテスト <table border="1"> <thead> <tr> <th>イラスト</th> <th>若者のトラブル部門</th> <th>高齢者のトラブル部門</th> <th>エシカル消費部門</th> <th>製品安全部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募作品数</td> <td>11点</td> <td>12点</td> <td>11点</td> <td>11点</td> </tr> <tr> <td>最優秀賞</td> <td>1点</td> <td>1点</td> <td>1点</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>2点</td> <td>2点</td> <td>2点</td> <td>2点</td> </tr> </tbody> </table> <p>優秀作品等を活用したパネル等の啓発物品を作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 消費者教育教材づくり 学校等の教員が消費者教育の授業で使用するための副教材を教員等と連携して作成、3,000部発行。 消費者啓発情報誌の作成 センター情報誌を作成、年12回発行。 啓発用パンフレットの作成 製品事故を防ぐために、乳幼児の保護者向けに啓発パンフレット作成、10,000部発行。 <p>【R 5年度予定】</p> <ol style="list-style-type: none"> 消費者フォーラムin奈良 (5月) 「SDGsの視点から私たちの未来を考える」 講師:国谷 裕子氏 (ジャーナリスト) 会場:奈良公園バスターミナルレクチャーホール 「夏休み子ども講座」8月8日開催 エシカル消費を学ぼう!「次世代エネルギーライト工作教室」 実践ラボ「消費者教育研修会」WEB開催 講座1「中学校・高等学校での金融教育について『何をどう実施するか?』」 講師:金融広報中央委員会 主査 竹内 俊久氏 講座2「立ち止まり考える方法を学ぶ・デジタル・シティズンシップの授業」 講師:一般社団法人メディア教育研究室 代表理事 今度 珠美氏 消費者教育・啓発の担い手となる教員やボランティア、消費生活相談員等を対象に、情報・知識・テクニックを提供する場とする。 「くらしの安全・安心サポーター」講座 11月7日・11月21日開催予定。消費生活センター等、相談窓口と地域をつなぐパイプ役となるサポーターを募集し、消費者問題に関する基礎知識と消費者啓発の手法を習得するための講座を開催する。受講後は、サポーターとして登録し、ボランティアとして活動してもらう。 また、サポーターの活動を維持するための研修会、意見交換会を開催する。さらに、サポーターの自主活動グループ(グループあんあん、ざ・ひめみこ)の啓発活動を支援する。 	イラスト	若者のトラブル部門	高齢者のトラブル部門	エシカル消費部門	製品安全部門	応募作品数	11点	12点	11点	11点	最優秀賞	1点	1点	1点	1点	優秀賞	2点	2点	2点	2点	5,051	4,012	消費生活センター
イラスト	若者のトラブル部門	高齢者のトラブル部門	エシカル消費部門	製品安全部門																				
応募作品数	11点	12点	11点	11点																				
最優秀賞	1点	1点	1点	1点																				
優秀賞	2点	2点	2点	2点																				

	<p>5. 「くらしの講座」 (テーマ未定) 3回程度</p> <p>6. 移動講座 隨時実施。消費生活知識の普及や消費者トラブルの未然防止のため、消費者の要望に応じ、地域の団体・学校・一般消費者グループが開催する講座や講演会等に講師を派遣し、消費者問題についての学習の機会を設ける。 ・成年年齢引き下げに伴う特別講座 講師：奈良弁護士会・奈良県消費生活コーディネーター</p> <p>7. 出前講座 隨時実施。くらしの安全・安心サポーターを地域の団体等の集まりに派遣し、消費者トラブルの未然防止を図る。</p>			
--	--	--	--	--

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位:千円)		所管課
		R 5年度	R 4年度	
消費者教育の普及推進事業	<p>消費者の自立を支援するため、消費者のライフステージに応じた消費者教育の機会を提供するなどの施策の企画・立案を行うとともに、消費者教育の推進のための取組を実施する。 消費者教育推進計画を策定する。</p> <p>【R 4年度実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> 若年者消費者教育強化事業 <ul style="list-style-type: none"> 「成年年齢引下げ」による消費者被害拡大防止のため、啓発(教育委員会との連携)、大学職員向け説明会等を実施 高齢者消費者教育強化事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けリーフレットを作成し、啓発コーナーに設置 県警察と連携し、大型商業施設において啓発活動を実施 高齢者特殊詐欺被害防止事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県警察と連携し、高齢者運転免許更新講習受講者に対して啓発チラシを配布 県警察と連携し、大型商業施設において防犯電話の展示及び啓発活動を実施 ワタミと連携し、夕食宅配事業において啓発チラシを配布 金融機関連携高齢者等生活設計・悪質商法防止事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 生命保険協会と連携し、啓発チラシ・ポスターを配布 中高大学生生活改善指導事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県警察と連携し、中高大学生を対象とした講座において啓発チラシを配布 高齢者等見守り活動推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ならコープと連携し、夕食宅配事業において啓発チラシを配布 悪質訪問販売防止事業物件費 <ul style="list-style-type: none"> 訪問販売お断りステッカーを配布 <p>【R 5年度実施予定】</p> <ol style="list-style-type: none"> 若年者消費者教育強化事業 <ul style="list-style-type: none"> 「成年年齢引下げ」による消費者被害拡大防止のため、啓発(教育委員会との連携)、大学職員向け説明会等を実施 高齢者消費者教育強化事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者向けリーフレットを作成し、啓発コーナーに設置 県警察と連携し、大型商業施設において啓発活動を実施 高齢者特殊詐欺被害防止事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県警察と連携し、高齢者運転免許更新講習受講者に対して啓発チラシを配布 県警察と連携し、啓発チラシを新聞の折り込み配布 県警察と連携し、大型商業施設において防犯電話の展示及び啓発活動を実施 ワタミと連携し、夕食宅配事業において啓発チラシを配布 コンビニエンスストアと連携し、電子マネー購入者に対し、特殊詐欺被害防止啓発メッセージ入り電子マネー用封筒を配布 金融機関連携高齢者等生活設計・悪質商法防止事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 生命保険協会と連携し、啓発チラシ・ポスターを配布 中高大学生生活改善指導事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県警察と連携し、中高大学生を対象とした講座において啓発チラシを配布 高齢者等見守り活動推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ならコープと連携し、夕食宅配事業において啓発チラシを配布 悪質訪問販売防止事業物件費 <ul style="list-style-type: none"> 訪問販売お断りステッカーを配布 	6,035	3,710	消費・生活安全課消費者行政係

事業名 (根拠法令等)		当初予算額 (単位：千円)		所 管 課
		R 5 年度	R 4 年度	
情報・資料の提供 (奈良県消費生活条例、奈良県消費生活センター条例)	<p>【R 4 年度実績】</p> <p>1. 啓発資料の作成・配布</p> <p>(1) 『あま〜い誘いにご用心!』 (12,000部) (近畿府県共同作成啓発資料) 配布先：高校生、大学生等 内容：若者に被害の多い悪質商法及びクーリング・オフについて</p> <p>(2) 『くらしの豆知識』 (150部) 配布先：県消費生活センター主催講座の受講者(学習資料) 内容：消費生活相談の事例をもとにした身近な生活情報冊子</p> <p>(3) 消費者啓発情報誌の作成 啓発情報誌を作成、年12回メールによる送付</p> <p>(4) 乳幼児保護者向け製品安全リーフレット 乳幼児の不慮の事故防止を目的に、乳幼児検診時等に配布するリーフレットを作成、10,000部配布。</p> <p>2. 消費生活情報の提供 消費者問題に関する情報を、インターネット等を活用し迅速に提供することにより、消費者被害の未然防止・拡大防止を図る。</p> <p>3. マスメディアを活用した消費者問題の啓発</p> <p>(1) 奈良新聞：「消費者の目」(毎月第1火曜日等：13回掲載)</p> <p>(2) ラジオ：ならどっとFM(毎月第3水曜日：12回放送) NHK関西ラジオワイド(毎週火曜日：近畿府県持ち回りで担当、奈良県4回)</p> <p>【R 5 年度予定】</p> <p>1. 啓発資料の作成・配布</p> <p>(1) 『あま〜い誘いにご用心!』 (14,000部) (近畿府県共同作成啓発資料) 配布先：高校生、大学生等 内容：若者に被害の多い悪質商法及びクーリング・オフについて</p> <p>(2) 『くらしの豆知識』 (150部) 配布先：県消費生活センター主催講座の受講者(学習資料) 内容：消費生活相談の事例をもとにした身近な生活情報冊子</p> <p>(3) 消費者啓発情報誌の作成 啓発情報誌を作成、年12回 メール配信及びホームページ掲載</p> <p>(4) 乳幼児保護者向け製品安全リーフレット 乳幼児の不慮の事故防止を目的に、乳幼児検診時等に配布するリーフレットを作成、10,000部配布。</p> <p>2. 消費生活情報の提供 消費者問題に関する情報を、インターネット等を活用し、迅速に提供することにより、消費者被害の未然防止・拡大防止を図る。</p> <p>3. マスメディアを活用した消費者問題の啓発</p> <p>(1) 奈良新聞：「消費者の目」(毎月第1火曜日：12回掲載)</p> <p>(2) ラジオ：ならどっとFM(毎月第3水曜日：12回放送) NHK関西ラジオワイド(毎週火曜日：近畿府県持ち回りで担当、奈良県4回)</p>	-	-	消費生活センター
消費生活情報に関する展示事業	<p>消費生活に必要な基礎知識をパネルで作成し、消費生活センターや消費生活に関する催し等で展示するとともに、地域の団体や学校等へ貸し出す。</p> <p>【R 4 年度実績】 7会場 35日</p>	-	-	消費生活センター

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位:千円)		所管課
		R 5年度	R 4年度	
安全・安心まちづくり推進事業	<p>【R 4年度実績】</p> <p>地域の防犯力・防災力を高めるための啓発、情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全・安心まちづくり」普及啓発・人材育成 自主防犯・防災リーダー研修 10月2日、11月6日、11月26日 社会福祉総合センター アドバイザースキルアップ研修 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止 ・地域防犯サポート事業所登録制度 R 3年度登録数: 111事業所 ・地域防災力向上支援ワークショップ : 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止 ・自主防災訓練支援事業: 4か所 ・安全・安心まちづくりアドバイザー派遣事業 安全・安心まちづくりアドバイザー派遣回数: 4回 <p>【R 5年度予定】</p> <p>地域の防犯力・防災力を高めるための啓発、情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全・安心まちづくり」普及啓発・人材育成 ・安全・安心まちづくり旬間の実施 ・全国地域安全運動奈良県民大会の開催 ・地域防犯サポート事業所登録制度 ・地域防犯重点地区支援事業 ・高齢者等特殊詐欺被害防止啓発事業 ・通学通園路等安全確保支援事業 ・地域防災力向上支援ワークショップ ・自主防災訓練支援事業 ・安全・安心まちづくりアドバイザー派遣事業 ・地域防災支援担当者制度 	10,142	9,520	安全・安心まちづくり推進課
広報誌等による県政広報	<p>県の主要施策、行事、お知らせ情報等を広報誌、テレビ・新聞等の媒体を活用し、できる限り多くの県民の目に触れるような機会づくりを行う。</p> <p>【R 4年度実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 刊行物等による県政広報事業 「県民だより奈良」「点字県民だより奈良」「声の県民だより奈良」に、「インターネットトラブル」「開運商法トラブル」「副業サイトや転売ビジネスのトラブル」への注意喚起を掲載 ② テレビ等による県政広報事業 県域テレビによる県政広報 県政スポットCM『みんなで防ごう! 振り込め詐欺』7回 ③ インターネット等による県政広報事業 「県政フラッシュ」「県政スポットCM」の動画配信 ④ ラジオによる情報提供 「ならどっとFM」「FMハイホー」「FM五條」 ⑤ 新聞等による県政広告事業 地元紙・全国紙等に県政広告を掲載 ⑥ スマホアプリによる奈良のニュース配信事業 奈良の地域ニュースや県の主要施策等をアプリで配信 R 4年度末ダウンロード数 30,972 <p>【R 5年度予定】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 刊行物による県政広報事業 「県民だより奈良」「点字県民だより奈良」「声の県民だより奈良」 ② テレビ等による県政広報事業 広報番組、スポットCM ③ インターネット等による県政広報事業 YouTube「奈良県公式総合チャンネル」 ④ ラジオによる情報提供 「ならどっとFM」「FMハイホー」「FM五條」 ⑤ 新聞等による県政広告事業 地元紙・全国紙等に県政広告を掲載 ⑥ スマホアプリによる奈良のニュース配信事業 無料配信アプリにより奈良の地域ニュース、イベント等の現地レポート、県のジャーナル等の情報をスマートフォン等の利用者に発信 	507,400	469,005	広報広聴課

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位:千円)		所管課
		R 5年度	R 4年度	
なら県政出前トーク	県政情報を積極的に提供するとともに、県民との対話を促進することを目的に、職員が出向いて施策を説明する、「なら県政出前トーク」を実施する。 【R 4年度実績】176のテーマを用意、76回実施 【R 5年度予定】172のテーマを用意	156	156	広報広聴課
薬物乱用防止対策事業	薬物乱用をもたらす保健衛生上の危害及び社会的な弊害について正しい知識の普及啓発の促進、及び規範意識の維持向上を図ることにより、薬物乱用を許さない県民意識の熟成を図る。	701	853	薬務課
薬事啓発指導事業 (医薬品医療機器等法)	医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい認識を広く県民の間に浸透させることにより、県民の保健衛生の維持向上に寄与する。	443	336	薬務課
食品ロス削減推進事業	1. 食品ロス削減推進事業 【R 4年度実績】 ・啓発イベントの開催 (啓発イベント10月、フードドライブ7月・10月・1月) ・国、市町村、フードバンク、食品事業者等との連携 ・啓発資材の配布(てまえどりPOP、リーフレット等) 【R 5年度予定】 ・啓発イベントの開催 ・国、市町村、フードバンク、食品事業者等との連携 ・ポータルサイトによる情報発信 ・農産物等のロスを削減するため、未利用農産物をこども食堂等へ提供 2. 食品ロスポータルサイト制作事業 【R 4年度実績】 ・食品ロスに関する様々な取組の情報を集約した「奈良県食品ロスポータルサイト」を開設。 3. 農産物等ロス削減推進事業 【R 4年度実績】 ・農産物等のロスを削減するため、未利用農産物をこども食堂等へ提供する方策の構築開始 4. 未利用食品活用推進事業 【R 4年度実績・R 5年度予定】 ・フードバンク活動団体に対し、未利用食品配送に係るフードバンク活動の推進に向けた事業に要する経費を補助	3,082	3,786	豊かな食と農の振興課
やまと花ごよみ開催事業、公園ふれあい事業	県民が花と緑と自然に親しみ関心を高めるように、馬見丘陵公園で講習会及び展示会を開催することにより、園芸に関する一層の消費拡大を図る。 【R 4年度実績】 講習会 16回 花と緑と自然の展示会 4回 参加者及び見学者数 2,025名	562	1,658	中和公園事務所
農業情報の発信	県民の健康増進や食の魅力向上につながるように、農業の研究で得られた成果や技術情報を、ウェブサイトや成果発表会、施設の一般公開等を通じて提供する。	-	-	農業研究開発センター
大和畜産ブランド推進事業	信頼されるおいしい畜産物の安定供給と、畜産農家の経営安定を図ることを目的とし、奈良県畜産農業協同組合が実施する大和畜産ブランドの地位確立のための事業費の一部を補助する。 1. 生産基盤強化対策 ① 和牛子牛県内保留対策 ② 蜜源増殖対策 2. 生産技術向上対策 ① 飼養管理技術向上対策 3. 販路拡大対策 ① 商談会への参加 ② イベントの開催 4. ブランド認証制度推進対策 ① ブランド認証制度推進対策	1,300	1,300	畜産課

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位:千円)		所管課
		R 5年度	R 4年度	
奈良の木を使用した住宅助成事業	県産材使用住宅への助成により「奈良県地域認証材」及び「奈良県産材」のより一層の普及促進を図る。 (補助金額) 構造材 5㎡以上 : 認証材 150千円、県産材 100千円 内装材20㎡以上 : 認証材 100千円、県産材 50千円 【R 4年度実績】構造材 : 認証材 9戸、県産材 72戸 内装材 : 認証材 84戸、県産材 62戸	23,259	23,242	奈良の木ブランド課
建築物安全安心実施計画推進事業	県、特定行政庁及び関係団体等で組織する「なら建築物安全安心推進協議会」が、その活動の一環として、建築物の安全性の確保を図るための取組を行う。関係団体と行政が連携して、違反建築防止の街頭啓発を行い、安全な住宅を建てるため、安心な住宅を買うために必要な情報(適正な建築手続きや重要事項説明書の説明等)について、県民に周知する。 【R 4年度実績】街頭啓発 1回 【R 5年度予定】街頭啓発 1回	80	60	建築安全推進課
既存木造住宅耐震診断市町村補助	大規模地震の発生に備えて人的被害を抑制するためには、古い木造住宅の耐震診断を早急に普及させ、耐震化を促進する必要がある。そのために、耐震診断を希望する所有者に対し県は市町村と連携して耐震診断に係る経費の補助を行う。 【R 4年度実績】58戸 【R 5年度予定】80戸	1,000	1,000	建築安全推進課
既存木造住宅耐震改修市町村補助	昭和56年の新耐震基準以前に建てられた木造住宅の耐震改修をする場合、県は市町村と連携して、その経費の一部を補助する。 【R 4年度実績】18戸 【R 5年度予定】14戸	2,140	3,000	建築安全推進課
マンション管理の適正化啓発事業 (マンション管理の適正化の推進に関する法律)	マンションにおける良好な居住環境の確保を図るための情報提供を行うため、所有者及び管理組合に対し、関係市町及び関連団体(NPO法人を含む。)との共催によりセミナーの開催を実施。 【R 4年度実績】1回 【R 5年度予定】1回	-	-	住まいまちづくり課
環境教育への支援	環境アドバイザーの派遣 県民等が実施する講習会等に環境に関する専門家(環境アドバイザー)を講師として紹介する。 【R 4年度実績】8団体へ派遣	379	119	環境政策課
普通教育における消費者教育	現行の学習指導要領において、小学校・中学校及び高等学校における消費生活に関する学習をさらに充実するよう改善された。各校種の消費者教育に関する内容は次のとおりである。 ① 小学校(文部科学省平成29年3月告示) [社会科] ・販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。 ・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。 ・工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。 [家庭科] ・買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。 ・身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。 ・購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。 ・自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。 ・環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。	-	-	高校の特色づくり推進課 学ぶ力はぐくみ課

[特別の教科 道徳]

- 学校の特色を生かして取り組んでいる現代的な教育課題については、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における学習と関連付け、それらの教育課題を主題とした教材を活用するなどして、様々な道徳的価値の視点で学習を深めたり、児童自身がこれらの学習を発展させたりして、人として他者と共によりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生きていくべきかなどについて、考えを深めていくこと。

② 中学校〈文部科学省平成29年3月告示〉

[社会科(公民)]

- 身近な消費生活
 - 消費者の自立の支援なども含めた消費者行政
- [技術・家庭科]
- 自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。
(→消費者基本法、消費生活センター、クーリング・オフ制度等)
 - 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。
(→環境への配慮、電子マネー等)

③ 高等学校〈文部科学省平成30年3月告示〉

[公民科]

- 消費者に関する問題
(→多様な契約、消費者の権利と責任等)
 - 成年年齢引き下げに伴う特別講座講師：奈良弁護士会・奈良県消費生活コーディネーター
 - 出前講座
随時実施。くらしの安全・安心サポーターを地域の団体等の集まりに派遣し、消費者トラブルの未然防止を図る。
- [家庭科]
- 生活における経済の計画
(→家計管理、生涯を見通した生活における経済の管理や計画)
 - 消費行動と意思決定
(→消費者の権利と責任、消費行動における意思決定、契約の重要性)
 - 持続可能なライフスタイルと環境
(→持続可能な消費)

※ (→) 内は学習指導要領解説における記述

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位：千円)		所管課
		R 5年度	R 4年度	
専門教育における消費者教育	高等学校家庭科「消費生活」、商業科「経済活動と法」「商品開発」「広告と販売促進」の中で、消費者教育を行っている。		—	高校の特色づくり推進課
学習情報収集・提供事業	SNSを活用して、県内の公開講座や講習会・研修会、展覧会、作品募集等の生涯学習に関する情報の提供を行う。(「なら・まなびねっと」)		55	人権・地域教育課
青少年非行問題等対策事業 (奈良県青少年の健全育成に関する条例)	青少年がインターネット利用に係る非行に陥ったり、犯罪の被害に遭うことがないように、フィルタリング等の利用普及、インターネット利用に関する家庭のルール作りの普及を図る。 【R 4年度実績】 ・携帯電話販売店立入検査 実施店舗数 135店舗 ・県政出前トーク 6件 565名 【R 5年度予定】 ・携帯電話販売店立入検査の実施 ・県政出前トークの実施	479	479	青少年・社会活動推進課
青少年のインターネットリテラシー向上事業	青少年のインターネットやSNSを介したトラブルの防止を図るため、インターネットを安心・安全に利用するための能力(インターネットリテラシー)を高める取組を実施する。 【R 4年度実績】 ・講習会への専門講師の派遣 36講座 6,634名受講 ・奈良県スマホ学生フォーラムの開催 ・啓発チラシの作成・配布 150,000部 ・大学生ボランティアによるリテラシー啓発動画の制作・活用 【R 5年度予定】 ・講習会への専門講師の派遣 ・青少年のインターネット利用環境づくりフォーラムの共催 ・大学生ボランティアによるリテラシー啓発動画の制作・活用 ・青少年のインターネットリテラシー啓発動画・標語コンテスト	1,344	1,422	青少年・社会活動推進課

(2) 消費者団体等の活動推進

消費生活協同組合に対する許認可・指導検査の実施(消費生活協同組合法)	消費生活協同組合の適正な運営と健全な発展を図り、県民生活の安定と生活文化の向上を推進する。 1. 消費生活協同組合の設立、解散、合併、定款変更及び員外利用等の許認可 2. 消費生活協同組合指導検査(組織・財務・業務管理等) 【R 4年度実績】指導検査の実施 3件 【R 5年度予定】指導検査の実施 3件	210	251	消費・生活安全課 消費者行政係
環境県民フォーラム推進事業 (環境基本法、環境基本条例)	平成9年8月に発足した奈良県環境県民フォーラムの活動が、本県の環境保全活動の先導的役割を果たし、それらの活動が広く県民に浸透するよう、発展的な活動に資する事業を展開。 会員数：27団体 ①組織運営 総会の開催、10人委員会(フォーラムの運営協議会)の開催 ②啓発活動等 ・各分科会(下記4分科会)の活動 エネルギー：エコクッキング教室の開催等 エコライフ：エコ見学会、河川浄化の啓発等 資源活用：環境にやさしい買い物キャンペーン等 自然環境：自然環境セミナー、自然体験教室等 ・フォーラム広報紙の発行 年2回、会員・企業・関係団体・公共機関に配布	312	311	環境政策課

(3) 生活設計の普及

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位：千円)		所管課
		R5年度	R4年度	
生活設計普及事業	<p>県民の金融に関する消費者教育及び生活設計の普及促進を図る。</p> <p>1. 奈良県金融広報委員会事務局運営 (参考) 奈良県金融広報委員会の事業【R4年度実績】</p> <p>(1) 金融経済等講演会の開催(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらしとおかね講演会 “ひとつごと”ではない消費者問題～賢く生活防衛しよう～ 講師：八代 英輝 氏(元裁判官・国際弁護士) 令和4年9月3日 橿原文化会館 参加者 131名 ・くらしとおかね講演会 FPフォーラム2022in奈良 ※日本FP協会奈良支部との共催(2部構成) 第1部：テーマ：～終活へのいざない～ おひとりさまも、おふたりさまも 講師：廣澤 牧子 氏 (CFP認定者1級ファイナンシャル・プランニング®技能士) 第2部：菊間千乃氏と学ぶ！ 人生100年を生き抜くための金融リテラシー ～消費者トラブル、金銭トラブル対策について～ 講師：菊間 千乃 氏(弁護士) 令和4年11月26日 奈良県文化会館 参加者 177名 <p>(2) 講座講習会の開催</p> <p>ア 子供向け講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子マナーセミナーの開催 テーマ：「おつかい上手にできるかな？」 講師：NPO法人 C・キッズ・ネットワーク 大森 節子 氏、南雲 智子 氏 親子26組(午前：14組、午後：12組) 令和4年8月3日 JAならけんまほろばキッチン ・春休み親子向け金銭教育イベントの開催 テーマ：「おつかい上手にできるかな？」 講師：NPO法人 C・キッズ・ネットワーク 大森 節子 氏、小山 千智 氏 親子58組(午前33組、午後25組) 令和5年3月28日 日航ホテル奈良 <p>イ 連続講座の開催</p> <p>＝一般向け講座＝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらしの講座 消費者力向上に必要な知識や、日常生活の中で必要な情報等を幅広く学んでいただくことを目的に、奈良県消費生活センターと開催 12月22日(22名)、1月27日(28名)、2月21日(27名) 各回 奈良県文化会館 集会室AB ①12月22日「楽しく学ぶ消費生活講座」 ～消費者トラブルに巻き込まれないために～ 奈良県金融広報アドバイザー 三宅 富予子 氏 ②1月27日 「令和6年4月1日から 相続登記の申請が義務化されます!!」 講師：奈良地方法務局登記部門統括登記官 「法務局における自筆証書遺言書保管制度について」 講師：奈良地方法務局供託課職員 ③2月21日「知っておきたい成年後見制度」 ～いざという時のために～ 講師：公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート奈良支部 支部長 橋本 浩史 氏 	250	250	消費生活センター

	<p>(3) 金融広報アドバイザーの派遣 座談会・講座・講演会・研修会 (20回) 参加者 509名</p> <p>(4) 金銭・金融教育研究校委嘱 奈良県立商業高等学校</p> <p>(5) 教員向けセミナー 7月28日 奈良県立教育研究所 参加18名 「18歳で大丈夫?～成年年齢下げと消費者教育～」 講師 弁護士 中村 新造 氏 「各教科に生かす消費者教育について」 講師：金融広報アドバイザー 神澤 佳子 氏</p> <p>(6) 広報活動 パネル展、ビデオ・DVD貸出</p> <p>(7) 金融経済情報資料の配付 (通年)</p>			
--	---	--	--	--

(4) 省資源・省エネルギーの推進

事業名 (根拠法令等)	事業の概要等	当初予算額 (単位：千円)		所管課
		R 5年度	R 4年度	
地球温暖化対策推進事業 (環境基本法、環境基本条例、地球温暖化対策の推進に関する法律)	地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出削減に向けて、地球温暖化防止県民運動を展開する。また、地域における推進体制を充実するため地球温暖化対策地域協議会の設立を促進する。 ①ストップ温暖化県民運動の推進 「奈良県エコキャラクター、な～らちゃん」活用 ②CO2削減アドバイザー派遣 【R 4年度実績】1事業所へ派遣	1,038	1,038	環境政策課